

農業水利施設の維持管理に関する地域住民意識
－農業水利システムの多面的機能に関するアンケート調査（Ⅱ）－
Consciousness of Residents in Maintenance of Irrigation and Drainage Facilities
-Questionnaire Survey on Multifunctionality of Irrigation and Drainage System (Ⅱ)-

○山本忠男* 喜多丈典** 長澤徹明*

○YAMAMOTO Tadao, KITA Takenori and NAGASAWA Tetuaki

1. はじめに

今後、農村地域の高齢化・労働力不足にともなって農業水利システムの維持管理が困難になると予想されることから、維持管理には地域住民の協力が不可欠といえる。地域一体となった農業水利システムの維持管理体制構築には、地域住民に農業水利システムの多面的機能の意義や地域全体への有益性を理解してもらう必要がある。前報¹⁾のアンケート分析では、農業水利システムの多面的機能に関する認識は農業従事の有無をはじめ様々な要因によって差異のあることが確認された。本来、農業水利システムの多面的機能を享受する地域住民として、農業従事の有無にかかわらず認識を共有することが望ましい。そこで本研究では先のアンケートの結果をもとに、今後の農業水利システムの維持管理に必要な方策などを検討した。

2. 方法

前報¹⁾で取り扱ったアンケートを使用し、主に多面的機能発揮の現状と課題、農業水利施設の農業以外の利用状況と今後の維持管理に関する設問を中心に分析を行った。

3. 結果

(1)多面的機能発揮の現状と課題 多面的機能を発揮する農業水利システムの働きは、地域住民に強く認識されていた。その多面的機能の中でもっとも認識されているのは、洪水調節機能であった。とくに天塩地区では防火・消雪に農業水利施設を利用しており、防火・消雪機能の認識が高かった。一方、北見地区では地域交流機能と親水・景観機能に関する認識が低かった。

多面的機能の発揮のために必要な項目としては、「維持管理組織」と「農業の持続」が多く支持された。これらは農業水利施設以上に重要とされ、多面的機能の発揮には農業水利システムの適切な管理と健全な営農が前提、と認識されていることを示す。さらに、多面的機能の発揮にあたり、農業従事者は水量と通水期間を重視し、非農業従事者は用排水の水質を重視するという点に意識の違いが認められた。

多面的機能の発揮に不十分な理由として、「農業水利施設の構造が十分でない」、「農業水利施設に通水しない期間がある」、「土地改良区の経済的問題」などの指摘があった。

(2)農業水利施設の農業以外の利用 農業以外に農業水利施設を利用しているという回答者は少なかった。利用にあたっての課題としては、「経済性」、「安全対策」、「周辺の環境整備」などが多くあげられた。利用者の中では趣味やリフレッシュの場としての利用が多く、

* 北海道大学大学院農学研究院 Research Faculty of Agriculture, Hokkaido University

**北海道大学大学院農学院 Graduate School of Agriculture, Hokkaido University

キーワード；多面的機能，農業水利システム，維持管理

利用していない回答者の中
でも、趣味やリフレッシュ
の場として将来利用したい
という回答が多く見られた。
特に地域住民の交流・教育
の場としての現在の利用は
少ないものの、将来は利用
したいという回答が多かつ
た。また、よく利用すると
回答した人ほど認識してい
る多面的機能の数が増える
という傾向が確認された（表 1）。

(3)農業水利施設の維持管理への協力意識
農業水利施設の維持管理への協力意識を見
ると、「協力できる」と回答する割合が高か
った(図 1)。その内訳は、農業従事者の「農
繁期外の労力提供」と非農業従事者の「労
力提供」が多く、どちらも「経済的負担」
は少なかった。そこで、農業従事者には農
閑期、非農業従事者には農繁期の労力提供
を中心に協力を求める方法が合理的な手段
となりうる。一方、「協力できない」とした
回答者の多くは、農業水利施設を農業以外
で利用したことのない回答者であった。こ
のことは農業以外の利用を促進するような
方策をとることで、「協力できない」とする人びとが少なくなる可能性のあることを示唆し
ている。

また、非農業従事者の 60%は、農業従事者だけでなく地域住民も農業水利施設の今後の
維持管理主体に参加することに対して肯定的な回答をした。すなわち農業水利システムを
地域資源と認識し、地域全体で管理していく意識が内在することを強く示唆している。

4. まとめ

程度の差はあれ、地域住民は農業水利システムの多面的機能について認識していること
が明らかになった。地域住民による農業水利システムの維持管理を実現するためには、非
農業従事者に農業水利システムを身近に感じてもらい、これらの積極的な利用を通じて多
面的機能への認識をより深めてもらうことの必要性が示唆された。これまでの土地改良区
や行政を主体とする施設に対する啓蒙、広報活動から、地域住民も加わった組織による活
動、たとえばワークショップ活動のような取り組みを取り入れていくことが、現状打開に
有効と考えられる。

参考文献 1) 喜多丈典, 山本忠男, 長澤徹明 ; 「農業水利施設に対する地域住民の意識構造」平成 18
年度農業土木学会大会講演要旨集

表 1 認知する多面的機能の数と施設利用状況の関係
Table 1 Relation between the numbers of recognized
multifunctionality and usage of facilities

		非農業従事者 non-farmers								
施設利用状況	認知している多面的機能の数									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	平均回答数
よく利用している	7%	0%	36%	29%	7%	7%	7%	7%	0%	3.14
ときどき利用している	11%	12%	28%	18%	16%	6%	6%	2%	0%	2.69
あまり利用しない。	21%	20%	30%	17%	7%	3%	1%	1%	0%	1.88
まったく利用したことがない	38%	21%	22%	13%	4%	1%	1%	0%	0%	1.31

		農業従事者 farmers								
施設利用状況	認知している多面的機能の数									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	平均回答数
よく利用している	2%	12%	21%	26%	9%	7%	9%	14%	0%	3.56
ときどき利用している	4%	7%	22%	23%	15%	9%	10%	8%	1%	3.54
あまり利用しない。	4%	5%	30%	30%	15%	12%	2%	3%	0%	3.08
まったく利用したことがない	10%	21%	29%	24%	11%	5%	1%	1%	0%	2.25

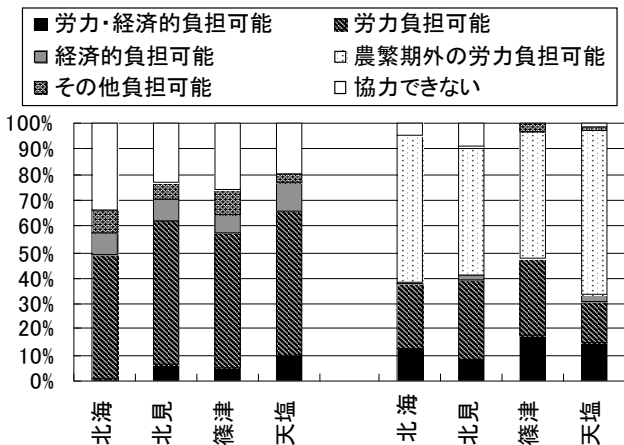


図 1 農業従事者(左)と非農業従事者(右)の
農業水利施設維持管理への協力意識
Fig.1 Cooperative consideration of farmers
(left) and non-farmers (right) for
maintenance of Irrigation and Drainage
Facilities